

農業のカタチ

宗明会

代表取締役

山田 聡さん

2006年に「介護が必要な人のために」と創設されました。



そんな中、堀金の見岳荘「けやき」のすぐそばにある農場を、大変お世話になった方から引き継がせて頂き「けやき農園」と名付けました。

Q2 現在どのような作物を栽培されていますか？

A2 けやき農園には樹齢10数年は経っていると思われるプルーンや白桃、ワツサー、あんず、ネクタリンなどが40本植わっております。初収穫したワツサーを食した時、あまりのおいしさにハマってしまい、今では倉田の荒廃農地を整備し、20本程ワツサーを植栽しました。また、空地を利用し、枝豆やさつまいも、ジャガイモ等、施設の自給自足用や販売用を兼ねて育てています。

Q3 農業に携わって良かったと思えることは何ですか？

A3 早起きになったこと（笑）。地産地消や地産地産、戦争や天候、物価高騰による影響で起こる食糧不足にどう取り組んでいくか、『食』を通して『生きていく』事を深く考えるようになりました。また、農業収入は決して多くない事を学べたため、生産者の立ち位置から販売料金体系等、農業就労者の所得増大が地域の課題だと気づ



さつまいもの収穫

Q4 今後どのようにしていきたいですか？

A4 今後は保存のきくナツツ系を増やしていきたいです。また、利用者さんと農業や農産物を通じて、地域と交流していく機会を設けていきたいです。安曇野の景色の良さを活かし、収穫体験・一部観光農園化を目指したいです。

Q5 無人販売所のPRをお願いします。

A5 見岳荘「けやき」では、けやき農園で収穫された果物や野菜を敷地内の無人販売所で販売しています。そこでは、地域の方の農産物も置いて、一緒に無人販売所を盛り上げて頂けると嬉しいので、是非お気軽にお声がけください。

Q1 福祉施設を運営されながら、農業を始めるようになったきっかけは何ですか？

A1 全国各地の介護事業所に視察に行く機会があり、介護事業を行いながら介護以外でも地域課題に取り組む法人様が励みになっていました。私たちも介護以外で地域の助けになれないか？を模索中に「そもそも安曇野の特徴って何だろうね」と考えた際に思い付いたのが「安曇野は農業・フルーツ王国」という事でした。農園と協力し、利用者さんと一緒に作業や収穫・販売が出来れば利用者さんの「生きがい創出」になるのではないかとそこに地域も巻き込めば！と思っていました。